

東京国立博物館 ニュース

2015 **10-11**

展示と催し物案内
第733号

- 2-3 ***** 特別展「始皇帝と大兵馬俑」 / 3 ***** 「アート オブ ブルガリ 130年にわたるイタリアの美の至宝」
- 4-5 ***** 平成館考古展示室リニューアルオープン / 5 ***** 秋の庭園開放
- 6 ***** 「博物館でアジアの旅」 / 7-11 ***** 総合文化展 / 11 ***** 保存と修理情報③
- 12-13 ***** みどりのライオン 教育普及事業 / 14-15 ***** イベント&インフォメーション
- 16 ***** 2015年10月・11月の展示・催し物



話題満載、秋のトータルハク
大兵馬俑・アジアの旅・考古展示室



あの美人さんも
待ってるほ!



特別展

始皇帝と 大兵馬俑

THE GREAT TERRACOTTA ARMY OF CHINA'S FIRST EMPEROR

平成館 特別展示室 | 10月27日(火) — 2016年2月21日(日)

「永遠」を守るための軍団、参上。

始皇帝の巨大な陵墓のほど近くに埋められた「兵馬俑」。20世紀の考古学で最大の発見ともいわれる陶製の軍団がこの秋、トーハクにやってきます。宮殿遺跡などからの発掘品とともに、「始皇帝が夢見た「永遠なる世界」の実像にふれてください! (川村佳男)

「なるほートーハク」では本展覧会の舞台裏を
紹介! 13ページもあわ
せて読んでね!



ユリノキちゃん

1 圧巻の「軍団・兵馬俑」!

兵馬俑は数千人からなる軍団を丸ごと写したもので、1体ずつ見ても力強いものですが、本展では本来の「軍団」としての迫力を再現します。

鋭い眼光の射手 跪射俑

西安市臨潼区秦始皇帝陵2号兵馬俑坑出土
本来は弩弓(クロスボウ)を持っていました。攻撃命令を待つ緊張感が伝わってきます

専用の装備 騎兵俑

引き締まった馬体
軍馬
西安市臨潼区秦始皇帝陵2号兵馬俑坑出土
丈の短い鎧を着た騎兵と、鞍をつけた馬の俑。尾はバラけのないように編みこんでいます

百戦錬磨の武将 將軍俑

西安市臨潼区秦始皇帝陵1号兵馬俑坑出土
思慮深そうな表情とたくましい両腕に、百戦錬磨の武将ならではの風格が漂います

しこうてい しょうぞう
始皇帝の肖像
(参考図版)
秦始皇帝陵博物院蔵



「始皇帝」とは？

姓名は嬴政(前259～前210年)。前247年に秦の国王となり、前221年に中国で初めて天下を統一し、皇帝を号しました。

2 発掘品で読み解け!「始皇帝の夢」

中国で初めて「皇帝」となった男が、天下統一につづいて夢見た野望とは!? 宮殿遺跡で出土した壁画などから、始皇帝の夢を読み解きます。

宮殿を彩る馬車の壁画

車馬出行図壁画残片

戦国～秦時代・前3世紀 咸陽市咸陽3号宮殿址出土
陝西省考古研究院蔵

菱形の先端が雲の文様のように丸まる枠内に、車輪のない神秘的な馬車を描いています。この壁画に隠された意味とは？



「権」力の重さはどれくらい？

両詔権

秦時代・前3世紀
出土地不詳
秦始皇帝陵博物院蔵

始皇帝が多数作らせた重量の基準となる重り(権)の一つ。刻まれた秦時代の文字にもご注目を!



高度なインフラ技術

水道管、L字形水道管、取水口

戦国～秦時代・前3世紀
咸陽市咸陽宮殿址出土
秦咸陽宮遺址博物館蔵

陶製の組み合わせ式の水道管。秦の発展を支えた高度なインフラ技術がうかがえます

記念講演会② ※講演会①は申込を締め切りました

銅車馬—始皇帝の乗った車駕—

11月28日(土) 13:30～15:00 (開場 13:00 予定)
講師：吳永琪(秦始皇帝陵博物院名誉院長)
* 逐次通訳付

シンポジウム③

秦王朝と兵馬俑—発掘された歴史の実像—

* 逐次通訳付
12月19日(土) 10:00～15:45 (開場 9:30 予定)
パネリスト：陳洪(秦始皇帝陵博物院副研究館員)、宋遠茹(陝西省考古研究院副研究員)、菊地大樹(京都大学人文科学研究所特別研究員)、川村佳男(当館平常展調整室主任研究員)

トークイベント④「びじゅチューン!」井上涼×兵馬俑

11月21日(土) 13:30～15:00 (開場 13:00 予定)
NHK・Eテレの人気番組「びじゅチューン」で作詞・作曲・アニメ・歌を担当する映像作家の井上涼さんが、兵馬俑を題材にした「兵馬俑ウエディング」を語ります。

会場：平成館大講堂

定員：380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
聴講無料(ただし本展覧会の観覧券が必要。半券でも可)

申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記までお申し込みください。1枚のはがきで最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。

申込先：〒359-0014 埼玉県所沢市亀ヶ谷 405-1 KKCビル 特別展「始皇帝と大兵馬俑」関連イベント(②～④)のいずれの申込かを明記) 係

申込締切：記念講演会②、トークイベント④ 10月13日(火)、シンポジウム③ 11月4日(水) 必着

【開催概要】主催：東京国立博物館、陝西省文物局、陝西省文物交流中心、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社/後援：中国大使館/協賛：野崎印刷紙業/協力：全日空運輸/観覧料：一般 1,600円(1,400円/1,300円)、大学生 1,200円(1,000円/900円)、高校生 900円(700円/600円) * ()内は前売/20名以上の団体料金 * 中学生以下無料 * 障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください)/お問合せ：ハローダイヤル 03-5777-8600/展覧会公式サイト：http://heibayou.jp/

兵馬俑の小さな「先輩」

秦では始皇帝以前から兵士などの人形(俑)を副葬する風習がありました。小ぶりですが、兵馬俑の先輩です。

騎馬俑

戦国時代・前4～前3世紀
咸陽市塔兒坡 28057号墓出土
咸陽市文物考古研究所蔵



ブローチ/ペンダント
プラチナ、エメラルド、ダイヤモンド 1958年

1962年、エリザベス・テイラーが俳優リチャード・バートンから婚約の証として贈られたブローチです。映画『予期せぬ出来事(The V.I.P's)』(1963年)では、白いドレスにこのブローチをつけて登場しています

【開催概要】主催：東京国立博物館、ブルガリ、読売新聞社/後援：イタリア大統領府、イタリア首相府、イタリア文化財・文化活動・観光省、イタリア大使館、ローマ市/観覧料金：一般 1,400円(1,100円)、大学生・高校生 800円(500円) * ()内は20名以上の団体料金。中学生以下無料 * 障がい者とその介護者1名は無料/お問合せ：ハローダイヤル 03-5777-8600

THE ART of BVLGARI

130 YEARS OF ITALIAN MASTERPIECES

アート オブ ブルガリ 130年にわたるイタリアの美の至宝

表慶館

9月8日(火)～11月29日(日)

本展ではイタリアが世界に誇るジュエリーブランド、ブルガリの、創業から今日に至るまでの130年を超える歴史をたどります。古代ギリシャやローマ文化の美術・建造物に加え、極東アジアや日本にインスピレーションを得たブルガリの作品は、いつの時代も創造性に満ちた革新的なものでした。会場には、「エリザベス・テイラーコレクション」や、「ブルガリ・ブルガリ」ウォッチヘリテージコレクションなどを含む約250ピースが展示されます。



白井克也
(考古室長)

美術でたどるのとはまた違う、
考古学ならではの
日本の歴史が楽しめます

オープン以来16年ぶりの考古展示室全面リニューアル。ガラスや照明が新しくなり、これまで以上の迫力、これまで以上の繊細さで、日本の考古遺物をご覧いただけます。土偶・銅鐸・埴輪などの、おなじみの作品はもちろん、左の写真の作品のように、これまで展示の機会が少なかったものも公開します。本館2階の「日本美術の流れ」とはまた違った視点で、旧石器時代から江戸時代までの日本の歴史をご堪能いただけることでしょう。

◎深鉢形土器

東京都分寺市 多喜窪遺跡第1号住居跡出土
縄文時代(中期)・前3000～前2000年
東京・武蔵国分寺蔵



10月14日
(水)

考古展示室 アルオープン

古展示室が、今秋、待望のリニューアルオープンをします。
)が、リニューアルでどこが変わったの? 新しい展示室の見どころは?
くなった考古展示室へ、ぜひお越しください。

◎埴輪 挂甲の武人

群馬県太田市飯塚町出土
古墳時代・6世紀



古谷毅
(古墳時代担当)

埴輪界のオンリー1。
彼が考古展示室の
新しい“顔”です



品川欣也
(旧石器～
弥生時代担当)

独特のかわいさ
のあるトーハクの
プリンセス♡
間近に見て、
土偶に親しみを!



◎みみずく土偶

埼玉県さいたま市 真福寺貝塚出土
縄文時代(後期)・前2000～前1000年

今度のリニューアルでは、大幅に作品の展示場所を変更した箇所があります。その一つがテーマ展示「縄文時代の祈りの道具・土偶」です。これまでより間近でご覧いただくことで、土偶たちにより親しみをもってもらえるかと確信しています。ここに紹介する土偶は、関東地方を代表する「みみずく土偶」。その顔に注目してください。頭の突起は髪形や竖櫛を、耳の円板は耳飾を表わし、縄文人の髪形や服装などを考える材料にもなっています。

展示室の入口には、原始・古代の日本列島を代表する作品、「挂甲の武人」を展示します。本作品は、甲冑をはじめとしたフル装備の武器・武具で身を固めて威儀を正す、古墳時代の武人の姿を表した埴輪です。秀逸で類い稀な写実的表現で、埴輪では唯一の国宝です。大陸文化の影響を受けながら独自に確立した当時の服飾や武装のスタイルを示し、古代東アジアにおける日本列島の文化史的な位置を伝えています。

関連ニュースをチェック！

**平成館考古展示室リニューアルオープン記念
連続ギャラリートーク 当日受付**

- 10月20日(火) 14:00～14:30
「国宝 武人埴輪と現代日本文化」
古谷毅 (列品管理課主任研究員)
 - 10月27日(火) 14:00～14:30
「須恵器の展開」 白井克也 (考古室長)
 - 11月13日(金) 18:30～19:00
「縄文土器の見方 大きさ・形・文様」
品川欣也 (特別展示主任研究員)
 - 11月20日(金) 18:30～19:00
「板碑への誘い 中世の石製塔婆」
井出浩正 (考古室研究員)
 - 11月27日(金) 18:30～19:00
「埴輪の農夫」 河野正訓 (考古室研究員)
- * 詳細は本誌12ページ参照。

**ファミリーツアー&子どもツアー
トーハク劇場へようこそ! 事前申込制**

考古学をテーマにした演劇形式のツアーです。
10月17日(土)・18日(日)・24日(土)・25日(日)
ファミリーツアー…各日10:00～11:00
対象:小学1～3年生とその保護者
子どもツアー…各日13:30～14:30
対象:小学4～6年生
* 両ツアーとも10月1日(木)申込締切。ファミリー
ツアーと子どもツアーは定員が異なります。詳細は本誌12
ページ参照。

**ミュージアムグッズ
「紙宝シリーズ—埴輪—」
10月12日(月・祝)より発売!**

考古展示室リニューアルを記念して、当館所蔵の埴輪がペーパークラフトになりました。「踊る人々」や「挂甲の武人」など全7種類432円～1080円(税込)。当館ミュージアムショップ限定アイテムです。



ぎんそうがんめいたち
◎銀象嵌銘大刀
熊本県玉名郡和水町
江田船山古墳出土
古墳時代・5～6世紀



河野正訓
(古墳時代担当)

**見逃すなんてありえない!
だから専用の展示空間、
つくっちゃいました**

「銀象嵌銘大刀」は、75文字の銘文と鳥・魚・馬形文様をもつ大刀であり、文字がまだ普及していない古墳時代の貴重な作品です。本作品を含め、江田船山古墳の出土品はすべて国宝に指定されています。リニューアルにあたって大刀の専用ケースを新設し、さらに大刀と同じく九州から出土した「石人」の2作品のために、独立した展示空間もつくりました。そのすぐ隣では、大幅に数を増やした江田船山古墳のその他の出土品を、まとめてご覧いただけます。



**平成館
リニューアル**

昨年12月より閉室していた平成館考古所でトーハクの考古学男子(研究員など、それぞれオススメをご紹介します。新し



秋の庭園開放
▼10月27日(火)～12月6日(日)

本館北側にある庭園は桜の名所ですが、紅葉シーズンもおすすすめです。この庭園を期間限定で開放します。普段は本館1階のテラスからしかご覧になれませんが、期間中は庭園を散策できるため、点在する茶室も間近に見いただけます(茶室内部は非公開)。カエデやイチヨウが鮮やかに色づく景色をお楽しみください。



時間: 10:00～16:00
料金: 入館料のみでご覧いただけます
庭園入口: レストランゆりのき脇、または平成館と本館の間
* 荒天により中止になる場合があります。

板碑とは、主に板状の石材を利用して中世の卒塔婆の一種です。武士の台頭とともに関東地方を中心に全国に立てられました。今まで展示の機会が少なかった板碑ですが、リニューアルを機に当館所蔵品から選りすぐって公開します。そこに刻まれた梵字や図像に加え、色や形、質感もお楽しみください。また、板碑が当時どのように立てられていたか再現的な展示も試みています。質実剛健な、東国武士さながらの風格が漂う板碑に注目です!



井出浩正
(飛鳥～江戸時代担当)

いたび板碑
神奈川県横浜市保土ヶ谷区
峰岡町出土
鎌倉時代・永仁3年(1295)
梅原為吉氏寄贈

**満を持して登場。
質実剛健、
東国武士の生き様が
みえる板碑がアツイ!**



関連イベント

※すべて当日受付
参加無料（ただし当日の入館料が必要）

セブンワンダーツアー — 添乗員はトーハク研究員 —

「交流」をキーワードに展示室をめぐるツアー形式のギャラリートークです。

■ 9月30日（水） 11:00～12:00

「インドから東南アジアへ、仏像の旅」
浅湊毅（東洋彫刻）

■ 10月2日（金） 11:00～12:00

「東洋の白磁—白いうつわをもとめて」
三笠景子（東洋陶磁史）

■ 10月3日（土） 11:00～12:00

「文字でたどる朝鮮の歴史」 白井克也（東アジア考古学）

■ 10月6日（火） 14:00～15:00

「トーハクでシルクロード探検」

勝木言一郎（東洋美術史、東西文化交流史）

■ 10月7日（水） 11:00～12:00

「茶人の執着ここにあり！名物製の世界」

小山弓弦葉（日本東洋染織史）

■ 10月9日（金） 11:00～12:00

「筆墨の伝える世界—東アジアのパスポート」

富田淳（東洋書跡）

■ 10月12日（月・祝） 11:00～12:00

「古代アジア青銅器の旅 なぜ人々は青銅に熱中したのか」
谷豊信（東洋考古）

* 東洋館1階 エントランスホール集合

* 展示室を巡るツアーです。歩きやすい靴でご参加ください

サムルノリ（太鼓演奏） 韓国の伝統芸能

■ 10月4日（日） 14:00～、15:30～（各30分程度）

出演：打線琴（タヨングム） 会場：東洋館前（雨天の場合は平成館大講堂）

* 雨天時は380名（先着順）

キルギスの伝統楽器コムズの調べ

■ 10月6日（火） 13:00～、15:30～（各30分程度）

出演：ウメトバエフ・カリマンほか 会場：東洋館1室

中国の伝統楽器古箏の調べ

■ 10月9日（金） 13:00～、15:30～（各30分程度）

出演：伍芳（ウー・ファン） 会場：東洋館8室

カヤグム（伽倻琴演奏と併唱） 韓国の伝統音楽

■ 10月11日（日）14:00～、15:30～（各30分程度）

出演：李明姫（イ・ミョンヒ）／伴奏：李昌燮（イ・チャンソプ）
会場：平成館大講堂 定員：380名（先着順）

アジアンぬりえ

東洋館の展示作品をモチーフにしたぬりえをお楽しみください。作品はお持ち帰りできます。

■ 10月3日（土）・4日（日）・10日（土）・11日（日）

11:00～16:00

会場：東洋館1階 エントランスホール

* ぬりえがなくなり次第終了。子どもから大人まで楽しめます

着てみてポーズ！ 中国・韓国・日本の伝統衣装

中国・韓国・日本の伝統衣装を着て記念撮影。それぞれの国の美意識や生活文化の違いを体感できます。

■ 期間中毎日 11:00～16:00

会場：東洋館1階 エントランスホール

* 随時自由参加。子ども用、大人用ともにご用意しています

ボランティアによる東洋館関連ガイドツアー

東洋館のハイライト、彫刻、たてもののガイドなどを、「博物館でアジアの旅」のための特別バージョンで実施します。詳細は本誌カレンダーをご覧ください。

10月2日（金）・3日（土）は特別夜間開館22:00まで

博物館で野外シネマ

「銀河鉄道の夜」

監督：杉井ギサブロー／1985年／
日本／107分／KADOKAWA

日時：10月2日（金）・3日（土） 19:00～

会場：本館前（雨天の場合は平成館大講堂）

* 雨天時は380名（先着順、整理券配布。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください）



博物館で アジアの旅

美術とイベントでアジアを楽しむ！

秋のお楽しみ3

9月29日（火）～10月12日（月・祝）

今年も秋の特別企画「博物館でアジアの旅」を開催します。

東洋館での総合文化展にイベントの数々、
秋の行楽シーズンはトーハクへ出かけよう！

西域美術を代表する名品



東洋館3室 しゃりようき 舍利容器

9月29日（火）～11月23日（月・祝）

6～7世紀 中国・伝スバシ 大谷探検隊将来自品

正倉院に伝わった楽器の系譜を、中央アジアの音楽の都クチャにたどることができます



ハーブの原形となった
箏篋を演奏する天使

高麗螺鈿の代表作



東洋館10室 きくからでんまはこ ◎菊花螺鈿経箱

9月29日（火）～12月6日（日） 朝鮮 高麗時代・13世紀

朝鮮との交易の拠点であった中国地方を制した、毛利家に
伝わりました。伝来の確かな高麗螺鈿の名品です



総合 文化展

発見！つながるアジア
文化交流の視点で楽しむ東洋館

期間中、東洋館では、3つの特集（本誌7ページ参照）を中心に、「交流」をテーマにした展示を行います。世界に誇るコレクションを持つトーハクだからこそできる、東洋美術史を展望する企画。今回はそのなかから、おすすめの作品をご紹介します。

📦マークは、「博物館でアジアの旅」関連作品です。展示室でこのマークを探してみてください。

東洋館

アジアを旅する

東洋館
5室

「中国の陶磁」

「白さ」への憧れ

特集「東洋の白磁」
—白をもとめ、白を生かす—

12月23日(水・祝)

本特集では、中国で生まれ、朝鮮、ベトナム、日本において展開した白磁について紹介しています。朝鮮半島では、朝鮮時代(1392～1910)に宮廷用の器や祭祀の器に白磁が採用され、おおらかに清々しい白磁が完成します。一方、日本では九州・有田における磁器誕生に先駆け、美濃において白い胎に長石釉が掛かった高火度焼成の白いやきもの「志野」が焼かれ、茶の湯・懷石のうつわとしてひろく流通しました。さらに志野では鉄絵のほか、鬼板と呼ばれる鉄泥を掛け、文様を掻き落とした「鼠志野」など白さを生かした装飾技法が開花しました。

朝鮮の白磁と日本の志野、どちらも「白さ」を追求したやきものですが、地域や文化の違いによってこのように異なる豊かな表情をみせています。(三笠景子)



白磁台皿
朝鮮 朝鮮時代・19世紀
横河民輔氏寄贈
儒教の祭祀に用いられる器。やや青みを帯びた釉が爽やかな印象です



鼠志野秋草図額皿
美濃 安土桃山～江戸時代・16～17世紀
個人蔵
鬼板をかけ、掻き落して文様をあらわした「鼠志野」。白い素地が生きた志野の名品です

東洋館
5室

「墳墓の世界」

漢・唐時代の陶俑が大集合！

特集「漢・唐時代の陶俑」

12月23日(水・祝)



加彩女子
中国 前漢時代・前2世紀
広田松繁氏寄贈
静かな表情で慎ましくたたずむ侍女の俑です



三彩女子
中国 唐時代・8世紀
横河民輔氏寄贈
華やかな装いに身を包み、小さな壺を手にしています

中国では古代からさまざまな人物や動物の形をしたやきもの「陶俑」を墓のなかに副葬してきました。本特集では陶俑のなかでも優品の多い漢・唐時代の例を取り上げ、その魅力を紹介いたします。展示期間中には特別展「始皇帝と大兵馬俑」が開幕(本誌2～3ページ参照)。兵馬俑の圧倒的な写実表現とともに、漢時代の侍女俑の清楚なたたずまいや、唐時代の三彩俑がもつ豪華な彩りなど、各時代の陶俑それぞれの魅力をお楽しみいただけます。このほか、日本でいち早く中国の陶俑を評価・蒐集した横河民輔などの実業家と、安田鞞彦など大正・昭和に活躍した芸術家の慧眼にも迫ります。会場では、陶俑を描いた静物画や、陶俑を参考にしながら制作した歴史画をパネルで展示し、画中の陶俑とよく似た作例を並置。造形美と資料性をあわせもつ陶俑の奥深さに、画家でなくともきっと魅せられることでしょう。(川村佳男)

東洋館
8室

「中国の絵画・書跡」

中国書画の神髄をご覧あれ

特集「中国書画精華」
—日本における受容と発展—

11月29日(日)

日本と中国の交易は鎌倉時代にも行われ、また宋や元に渡った禅宗僧侶たちによって、多くの唐物が日本に運ばれてきました。円爾が建立した京都の東福寺には、帰国に際して持ち帰った師の無準師範らの書が残されています。当時の日本人は、宋元の本格的な書画をはじめとする唐物を積極的に収集し、生活の中にもどのように取り込むか工夫を重ねました。室町時代には、將軍家を中心に収集された唐物の扱い方や鑑定を専門とする人々も登場します。また、明治以降、新たに中国の文人趣味を理想とする優れた収集家によって、中国書画の精品が日本に伝えられました。日本に大きな影響を与えた、さまざまな中国書画をお楽しみください。(富田淳)



●禅院額字「旃檀林」
張即之筆 中国 南宋時代・13世紀
京都・東福寺蔵
京都の東福寺には、禅院にかけられる額字の原本が数多く遺されています



◎六相截竹圖
梁楷筆 中国 南宋時代・13世紀
展示期間：～10月25日(日)
梁楷の作品は本場中国に類品が少なく、むしろ日本に名品が伝存しています



10/12 月・祝 ◎**刀 長船元重** 南北朝時代・14世紀
◎**朱漆打刀**(◎刀 長船元重の拵)
安土桃山～江戸時代・16～17世紀
徳川家康の次男である結城秀康の指料で、
刀装は無骨で華やかです

4 茶の美術

10/6 火 **12/23 水・祝**

色絵祥瑞文瓢形徳利
伊万里(祥瑞手) 江戸時代・17世紀
中国・景德鎮窯の青花磁器の「祥瑞手」
を華やかな色絵で写した伊万里の徳利

10/4 日 のぼりてんらく 中国・建窯
南宋時代・12～13世紀 広田松繁氏寄贈
黒釉の中に細い
線が幾筋もあら
われた神秘的な
天目茶碗です



3 -3

3 禅と水墨画
—鎌倉～室町

術の流れ
戸まで、
どる日本美術史

本館 ③-3室
禅と水墨画
—鎌倉～室町

10/25 日

◎**山水図**
岳翁蔵丘筆
天隠龍澤賛
室町時代・15世紀
松永安左工門氏寄贈
画中の人物となって絵の中
を歩めば、美しい山々を眺
めることができます



10/27 火
12/6 日

◎**太公望・文王図**
(部分)
伝狩野元信筆
室町時代・16世紀
禅宗寺院の障壁画の貴重な遺品で、
太公望と周の文王が出会う場面です



本館 ③-2室
宮廷の美術
—平安～室町

3 -2

3 宮廷の美術
—平安～室町

10/27 火 **12/6 日**

◎**松浦宮物語**
鎌倉時代・13世紀
金銀泥の下絵料紙に、
藤原定家作とされる物
語が書写されています



本館 ③-1室
仏教の美術
—平安～室町

2 国宝室

10/4 日

◎**秋萩帖** 伝小野道風筆
平安時代・11～12世紀
平安時代後半のやわらかい
筆致で書写された、流麗な
草仮名をお楽しみください

10/25 日

◎**男衾三郎絵巻**(部分) 鎌倉時代・13世紀
性格の異なる関東武士の兄弟をめぐる物語です

1 -1

日本美術のあけぼの
—縄文・弥生・古墳
10月12日(月・祝)まで平成館考古展示室
閉室に伴う代替展示を行います。

11/23 月・祝 ◎**衝角付甕**
山梨県中央市 大塚古墳出土
古墳時代・5世紀
正面が鋭く尖るデザインで帯状鉄板
を多用した日本列島独自の甕です
※11月25日(水)～2016年6月12
日(日)は平成館考古展示室で展示

12/23 水・祝
◎**火焔型土器**
伝新潟県長岡市馬高出土
縄文時代(中期)
前3000～前2000年
縄文はありませんが、この土器
がもっとも有名な縄文土器で
しょう

本館 ②室
国宝室

11/5 木 **11/29 日**

◎**千手観音像**
平安時代・12世紀
優美で華麗な表現と骨太で
動きのある表現が共存する、
千手観音画像の代表作です

10/6 火 **11/3 火・祝**

◎**山水屏風**(部分)
鎌倉時代・13世紀 京都・神護寺蔵
現存最古のやまと絵屏風です。
人物や動物の細やかな筆致に
ご注目ください

3 -1

3 仏教の美術
—平安～室町

10/27 火
2016/1/17 日

◎**金銅火焰宝珠形舍利容器**
鎌倉時代・13世紀
釈迦の遺骨(舍利)に見立
てた宝石やガラスの粒を
納めています

1 -2

仏教の興隆
—飛鳥・奈良

10/25 日

◎**等目菩薩経巻中(吉備由利願経)**
奈良時代・天平神護2年(766)
反町英作氏寄贈
吉備真備の親族で女官の由利が発願した
一切経の一つ。大ぶりの堂々とした文字です

2016/4/10 日 ◎**延金(興福寺鎮壇具のうち)**
奈良市興福寺中堂須弥壇下出土 奈良時代・8世紀
金・銀・真珠・水晶・瑠璃や、除魔の呪術の効果があると
信じられたものが埋められました

10/25 日

◎**法華経 方便品**
(竹生島経)(部分)
平安時代・11世紀
鳥や草花などの大らか
な下絵と穏やかな和様
の文字との調和が見ど
ころです

10/25 日

◎**法華経 方便品**
(竹生島経)(部分)
平安時代・11世紀
鳥や草花などの大らか
な下絵と穏やかな和様
の文字との調和が見ど
ころです

7

屏風と襖絵

— 安土桃山・江戸

10/27 火 — 12/6 日

◎**山水図屏風**(部分)
彭城百川筆
江戸時代・延享4年(1747)
大雅・蕪村に先駆けた草創期の南画家の代表作です



10/25 日

◎**浅間山図屏風**(部分)
亜欧堂田善筆
江戸時代・19世紀
洋風画の実力者が信州の風景を描いています。その不思議な魅力をお楽しみください

5

6

10/14 水

12/23 水祝

◎**太刀 大和物**
(号 獅子王)

平安時代・12世紀

武士の装い

— 平安〜江戸

◎**黒漆太刀**(◎太刀 大和物(号 獅子王)の拵)
鎌倉時代・13〜14世紀
刀装は黒漆塗の質実な作風で、刀身に古くから付属する珍しい例です



本館 7 室

屏風と襖絵
— 安土桃山・江戸



本館 6 室

武士の装い
— 平安〜江戸

ラウ

8 - 1

暮らしの調度

— 安土桃山・江戸

10/27 火 — 2016/1/24 日

◎**源氏絵彩色貝桶**
江戸時代・17世紀
蛤は貞節の象徴とされ、貝桶は婚礼を象徴するおめでたい道具でした



10/25 日

◎**七宝菊水文引手**
江戸時代・18世紀
菊水文様は長寿の象徴で、襖や引き戸の引手には、七宝の優品が多く見られます

本館 8-1 室

暮らしの調度
— 安土桃山・江戸

本館 8-2 室

書画の展開
— 安土桃山・江戸

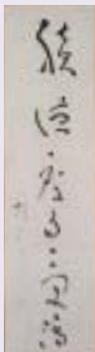
8 - 2

書画の展開

— 安土桃山・江戸

10/25 日

◎**一行書「積徳厚自受薄」**
良寛筆 江戸時代・19世紀
竹内静子氏寄贈
諸国を行脚し、多くの逸話で知られる良寛の飄逸な書です



◎**葡萄図** 立原杏所筆
江戸時代・天保6年(1835)
沈酔状態で描かれた絵画。激しい筆致から武士の覚悟が湧きあがります



10/27 火 — 12/6 日

◎**佐藤一斎(五十歳)像**
渡辺崋山筆
江戸時代・文政4年(1821)
河田燕氏寄贈
真に迫る!! 29歳の崋山が敬意をこめ写した50歳の学者の肖像



◎**望岳賦**
佐久間象山筆
江戸時代・19世紀
会津秀雄氏寄贈
富士山的美しさを力強い言葉遣いで描写した佐久間象山の代表作です



9

能と歌舞伎

11/3 火祝

能「紅葉狩」に合わせて、江戸時代を中心とした面・装束を紹介します。



◎**唐織 金紅萌黄段敷瓦菊薄模様**
奈良・金春座伝来
江戸時代・18世紀
安土桃山時代のデザイン様式と江戸時代の技術を融合させた豪華絢爛な唐織です

11/5 木 — 12/23 水祝

大奥で活躍したお狂言師・坂東三津江所用の、男性役の衣装を中心に展覧します。

◎**羽織 白呉絨地龍波濤模様**

江戸時代・19世紀 高木キヨウ氏寄贈
中国の皇帝の衣装からデザインを借り、いかにも武将にふさわしい力強さをアピールしています



【衣装】

11/3 火祝

◎**重陽の節供にちなんだ菊の模様や、秋草模様の小袖**を中心に展示します。

◎**小袖 白絹子地菊網文字模様**

江戸時代・18世紀
まとう女性の教養をうかがわせる漢詩の文字散らし模様です



11/5 木 — 12/23 水祝

◎**小袖 黒絹子地波鷺鷹模様**

江戸時代・17世紀
江戸時代前期のいわゆる「寛文小袖」は遊び心のある大胆な模様が特徴です



10

浮世絵と衣装 — 江戸

【浮世絵】

9/27 日

近世初期風俗画から幕末の錦絵まで多様な浮世絵の世界をご覧ください。

◎**風俗四季哥仙・菊月**

鈴木春信筆 江戸時代・18世紀
重陽の節句の日、若者をめぐる恋の行方は?



9/29 火 — 10/25 日

歌舞伎に関する作品を中心に、中国や天竺を題材とした浮世絵版画や、歌川国貞の美人図を加えて展示します。

◎**八代目森田勤弥の鴛鴦昇 鶯の治郎作**
東洲斎写楽筆 江戸時代・寛政6年(1794)
写楽の大首絵にはめずらしく動きのある作品です



10/27 火 — 11/23 月祝

春信、歌麿の美人図、北斎、広重の風景図などで浮世絵の流れを追います。

◎**見返り美人図**

菱川師宣筆 江戸時代・17世紀
切手でも知られたあの美人が振り向いています



本館 日本に出会う

本館特別 ①室 本館特別 ②室

一遍ゆかりの聖地をめぐる

特集「一遍と歩く」
「一遍聖絵にみる聖地と信仰」

11月3日(火祝)〜12月13日(日)

時宗の祖・一遍(1239〜1289)は全国さまざまな社寺を遊行し、布教につとめた念仏聖です。十回忌にあたる正安元年(1299)に制作された国宝「一遍聖絵」には、その生涯が壮麗な聖地の風景とともに描き出されています。この特集では、当館所蔵の巻第七と江戸時代の模本を手がかりとして、熊野・善光寺などの代表的な聖地を、ゆかりの絵画・彫刻・考古遺物とともに紹介します。

同時期に、神奈川県藤沢市の遊行寺宝物館(10月10日(土)〜12月14日(月))、神奈川県立歴史博物館(11月21日(土)〜12月13日(日))、神奈川県立金沢文庫(11月19日(木)〜12月13日(日))で、国宝「一遍聖絵」全巻が公開されます。ぜひ、あわせてお訪ねください。
(瀬谷愛)



●一遍聖絵 巻第七 (部分)

法眼円伊筆 鎌倉時代・正安元年(1299)
京都にある空也上人の遺跡、市屋で踊り念仏を行う一遍たち



●石清水八幡曼荼羅圖

鎌倉時代・13世紀
東京・大倉集古館蔵
一遍は本地仏が阿彌陀如来である石清水八幡宮にも参詣しました

本館 ⑩室 浮世絵と衣装

子どもの頃に憧れた?! あのお江戸の美人に会える

見返り美人図

10月27日(火)〜11月23日(月・祝)



見返り美人図

菱川師宣筆
江戸時代・17世紀
当時の江戸の美意識が凝縮した立美人図。けっこう肉感的な女性です

切手収集が盛んだったころ、高額で有名だったのが、昭和23年(1948)11月に発行された「見返り美人」の単色刷切手。発行当時の封書基本料金5円の切手でしたが、高値で交換され、手の届かない憧れでした。「見返り美人」のカラー図版を見てその鮮やかな色の世界に驚いた人もいるのではないのでしょうか。

この絵の作者、菱川師宣は、着物を飾る縫箔師の家に生まれました。江戸時代の流行ファッションを鮮やかに写したその実物が今展示されています。小さな切手の世界に美を感じた頃を思い出しながら見るのも楽しいかもしれません。
(田沢裕賀)

本館 ⑪室 彫刻

重文から国宝へ、 聖観音から虚空蔵菩薩へ!

国宝 虚空蔵菩薩立像

10月25日(日)

腕から垂れる天衣も含め、頭の先から台座まで一材から彫り出す、まさに一木造であらわされた優作です。香木である白檀で彫られた「檀像」を模すため、全身に黄土を施しています。木彫ならではの緻密で鋭い彫技が冴え、彫りが深く、おおぶりの眉をもつ異国風の顔立ちも魅力的です。

これまで「聖観音」として親しまれてきましたが、醍醐寺に伝わる版木から、もともと「虚空蔵菩薩」として醍醐山内の菩提寺に伝わったことが判明したため、名称を変更したうえ、この春、国宝に指定されました。
(西木政統)



(部分)

●虚空蔵菩薩立像

平安時代・9世紀
京都・醍醐寺蔵
複雑に乱れる衣のひだまで、克明に彫刻するところが見事です

本館 ⑭室

気品あふれる刀装具の美

特集「後藤一乗」
幕末の華やかな刀装と絵図

10月6日(火)〜12月13日(日)

後藤一乗(1791〜1876)は幕末を中心に刀装具を製作していた名工です。後藤家は江戸時代に最も栄えた刀装具の一派で、一乗は京都の分家に生まれ、同家の端正な作風を保ちつつ、一派ではあまり用いない金属や技法を駆使することで新たな上品さのある刀装具を作り出した。この特集では、一乗やその弟子の作品、朝廷からの依頼によって製作されたと考えられる刀装、そして一部の刀装では下絵も展示し、その緻密な製作をたどります。幕末に生みだされた刀装、刀装具の、気品と華やかさに満ちた世界をご覧ください。なお、本館13室(刀剣)では刀装の中身である刀身も展示されます。あわせてお見逃しなく。
(酒井元樹)



いかり じょうおう
沃懸地鳳凰
まますのこ 小脇指
時絵

(左は部分)
金具:後藤一乗
江戸時代・19世紀
華やかで斬新。しかし上品なのが一乗の真骨頂です

平成館 特集で遊ぶ

●平成館 企画展示室

江戸時代の一大プロジェクト

特集

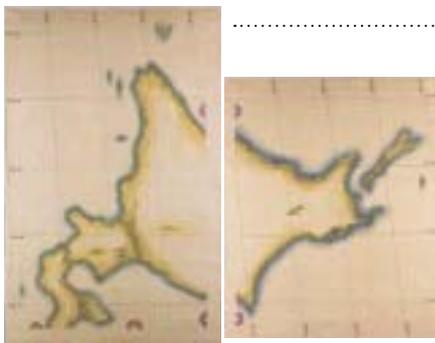
「伊能忠敬の日本図」

10月14日(水)～12月23日(水・祝)

今年も伊能忠敬の日本図を展示します。忠敬は下総国佐原(千葉県香取市)で商人として前半生を送り、隠居してから天文学や測量術を本格的に学びました。その最初の測量事業が寛政12年(1800)に行われた蝦夷地(北海道)の実測です。今回は当館の伊能図の代表といえる「日本沿海輿地図(中図)」の北海道を描いた2点を含む伊能図7点と、忠敬の後に精密な測量を行った今井八九郎制作の地図、そして幕末に北海道を踏

査した松浦武四郎の資料などを展示します。

また、昨年と同様にTNM&TOPPANミュージアムシアターでは10月14日(水)から、伊能図がより楽しめるコンテンツ「伊能忠敬の日本図」を上演します(本誌15ページ参照)。展示とあわせてご覧ください(田良島哲)



◎日本沿海輿地図(中図)
北海道東部・西部

伊能忠敬 江戸時代・19世紀
忠敬最初の測量の成果。一部踏査できなかった場所もありました

黒田記念館 近代絵画に触れる

●黒田記念館 特別室

慈しみにあふれた画家のまなざし

読書

10月27日(火)～11月8日(日)

「日本近代洋画の父」と称される黒田清輝が、フランス留学中にサロン(展覧会)へ入選を果たし、画壇へのデビューを飾った作です。黒田はパリで、画家のラファエル・コランからアカデミックな画技指導を受けていましたが、明治23年(1890)頃よりパリ郊外の小村、グレー・シュル・ロワンに移り住み、その村の風物を題材とした作品を描くようになります。「読書」もそのひとつで、モデルとなったのは黒田が世話になっていた豚肉屋の娘、マリア・ピ



読書 黒田清輝筆 明治24年(1891)
フランスでのサロン入選を果たした、黒田清輝の画壇デビュー作

ヨー。黒田とマリアは、画家とモデル以上の親密な関係にあったといえます。鑑戸から射しこむ穏やかな光の中で彼女を描き出し、堅実な描写の中にも、マリアに注がれた黒田の慈しむようなまなざしが感じられます。(塩谷純)

保存と修理情報

31

保存修復室の仕事

③

今年4月より彫刻など立休文化財の修理を担当する職員(アソシエイトフエロー)として、野中昭美さんが保存修復室の仲間となりました。これまでの修理技術アソシエイトフエローは紙の専門家のみでしたが、野中さんが加わったことで、館内での修理可能範囲が広がりました。目下作業中なのは雛人形です。旧修理でお顔全面に塗られていた白い塗料を除去すると、オリジナルの美しい肌が見えてきました。来年には展示が期待できそうです。その他、加彩楽人をはじめとする一連の出土品を修理しました。全体に汚れが付着し、首の部分が割れていることから展示ができませんでした。出土したときに付着していた土を残りつつ、汚れのみをクリーニングし、分断された部分の接着を行いました。処置をしたその他数点とともに、東洋館5室の特集「漢・唐時代の陶俑」(本誌7ページ参照)にて展示中です。どうぞお楽しみください。

(土屋裕子)



雛人形のお顔をクリーニングする様子



処置前の加彩楽人。首が胴体から離れています

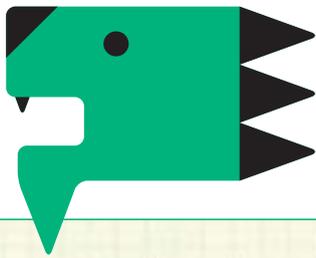


接着剤をつけた後、ヒコを用いて首と胴体を圧着します



処置後の加彩楽人

1000年後の未来に パトンタッチ!



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 教育センター

教育普及事業

ART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び

講座・講演会・ギャラリートーク

講演会

月例講演会「日本美術がおもしろくなる様々な見方」

日時:10月10日(土) 13:30~15:00

講師:ミウォシュ ヴォズニ(国際交流室アソシエイトフェロー)

同じ作品でも、様々な観点から鑑賞したり考えたりすることができます。

日本美術やトーハクの来館がよりおもしろくなる、各分野の

作品の色々な見方をご紹介します。

イベント
見てみたいほ!

月例講演会「一遍とたどる日本の聖地と時宗の文化財」

*関連展示:本誌10ページ

日時:11月7日(土) 13:30~15:00

講師:薄井和男(神奈川県立歴史博物館館長)

瀬谷愛(保存修復室主任研究員)

特集「一遍と歩く 一遍聖絵にみる聖地と信仰」に関連して、

一遍が遊覧した日本の聖地や、全国に広がる時宗寺院の文化財について語ります。



*会場は平成館大講堂、定員380名(先着順)、聴講無料(ただし、当日の入館料が必要)
*開場は開始の30分前(予定)

ギャラリートーク

肖像彫刻

日時:11月6日(金) 18:30~19:00 本館11室

講師:浅湊毅(教育講座室長)

日本の肖像彫刻は寺院にまつられることが多く、各宗派の祖師像や聖徳太子像、羅漢像など、仏教にまつわるものがほとんどです。これら肖像彫刻について大倉集古館の法蓮像を中心にお話します。

ゼンゼン
違うんだほ!



禅宗寺院の中世障壁画

日時:11月10日(火) 14:00~14:30

本館地下 みどりのライオン

(教育普及スペース)

講師:救仁郷秀明(列品管理課長)

江戸時代のきらびやかな襷絵とは異なる、しっとりとして落ち着いた雰囲気
の襷絵が室町時代にはありました。中世の閑寂な世界へ旅立ちましょう。

丁寧な説明、
イタビ(…)
いります。



東アジアへと伝わった英雄ヘラクレスのイメージ

日時:11月17日(火) 14:00~14:30 東洋館シアター

講師:勝木言一郎(出版企画室長)

ギリシャ神話の英雄ヘラクレスは、ライオンの毛皮を被る男性像に表されてきました。そのイメージがどのような形で東アジアへと伝わっていたのかを語ります。

平成館考古展示室リニューアルオープン記念

連続ギャラリートーク

*関連展示:本誌4~5ページ

① 国宝 武人埴輪と現代日本文化

日時:10月20日(火) 14:00~14:30 平成館考古展示室

講師:古谷毅(列品管理課主任研究員)

考古展示室の入口に展示されることとなる、国宝「埴輪 掛甲の武人」。原始・古代日本文化の象徴として、また教科書・切手や映画・子ども番組のキャラクターのモデルなど、広く国民の記憶に刻まれる理由をお話します。

② 須恵器の展開

日時:10月27日(火) 14:00~14:30 平成館考古展示室

講師:白井克也(考古室長)

朝鮮半島から新たな技術が伝わり、日本独自の形を手に入れた須恵器。古墳時代から奈良時代までの展開を解説します。

③ 縄文土器の見方 大きさ・形・文様

日時:11月13日(金) 18:30~19:00 平成館考古展示室

講師:品川欣也(特別展室主任研究員)

およそ1万年以上も作られ続けた縄文土器の大きさ、形、文様は様々です。遠くから眺めて楽しむ、近寄って見て知る縄文土器の見方、お教えします。

④ 板碑への誘い 中世の石裂塔婆

日時:11月20日(金) 18:30~19:00

平成館考古展示室

講師:井出浩正(考古室研究員)

板碑は主に中世に作られた石裂塔婆のひとつです。リニューアル後、新たに考古展示室に仲間入りした板碑の見方や歴史的意義、その魅力をご紹介します。

⑤ 埴輪の農夫

日時:11月27日(金) 18:30~19:00 平成館考古展示室

講師:河野正訓(考古室研究員)

愛らしい表情をもつことで広く知られる、鍬をかつぐ農夫の人物像の解説を通じて、リニューアルした埴輪展示の魅力をご紹介します。

ART
2

五感を使った美術体験

ワークショップ・ツアー

事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

ファミリーツアー&子どもツアー

トーハク劇場へようこそ!

トーハクには、古い歴史をもったものがたくさん! 考古学をテーマにした演劇形式のツアーです。劇場にお芝居を観に行くような、わくわくした気分で展示室へと出発!



展示室が
劇場に
なるのよ!



日時:ファミリーツアー

子どもツアー

A. 10月17日(土) 10:00~11:00

E. 10月17日(土) 13:30~14:30

B. 10月18日(日) 10:00~11:00

F. 10月18日(日) 13:30~14:30

C. 10月24日(土) 10:00~11:00

G. 10月24日(土) 13:30~14:30

D. 10月25日(日) 10:00~11:00

H. 10月25日(日) 13:30~14:30

対象:A~D 小学1~3年生とその保護者/E~H 小学4~6年生(保護者の見学可能)

定員:A~Dは各回10組、E~Hは各回20名 ※いずれも応募者多数の場合は抽選

参加費:無料(ただし、大学生以上は当日の入館料が必要)

申込方法:当館ウェブサイトフォームでお申し込みください。

※子どもツアー(E~H)は対象年齢内であれば、1回の入力で3人まで申込可

申込締切:A~Hいずれも 10月1日(木) 必着

※インターネットからのお申し込みができない方は、

お電話でお問い合わせください。TEL:03-3822-1111(代) 教育普及室

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

アートスタジオ

まがたま 勾玉作り体験

ボランティアデー特別企画として、通常子どもたちを対象に実施しているプログラム「勾玉作り」を大人向けに行います。完成品はお持ち帰りいただけます。



日時：①12月5日(土) 11:00~11:50 ②12月6日(日) 11:00~11:50
※①②いずれも同じ内容

会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象：高校生以上 費用：無料(ただし、大学生以上は当日の入館料が必要)

定員：各回20名程度(応募者多数の場合は抽選)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームまたは往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「返信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな・性別・年齢、(2)参加者全員の郵便番号・住所(2名の場合は、それぞれの住所)、(3)代表者の電話番号、(4)希望の回(①12月5日・②12月6日のいずれか)を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。

※1枚のはがきで①②どちらか一方、最大2名まで申込可。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室「ボランティアデー勾玉作り」係

申込締切：11月3日(火・祝)必着

東博ボランティアデー 2015と 平成28年度ボランティア募集のお知らせ

国際ボランティアデーにちなんで、12月5日(土)・6日(日)に「東博ボランティアデー」を開催します。皆さんはトーハクで活動するボランティアを見かけたことはあるでしょうか？

トーハクでは来館者の皆様が不安なく充実した時間を過ごせるよう、160人ものボランティアが3年の任期でさまざまな活動をしています。館内でのご案内や体験コーナーの運営を中心に、バリアフリー・ワークショップ・講演会・保存修復業務のサポート、スクールプログラム、ガイドツアーなど、その活動内容はバラエティ豊かです。

ボランティアデーの2日間は、普段は曜日ごとに分かれて活動をしているボランティアが一堂に集合。活動内容や活動場所をご案内する「ボランティア活動紹介ツアー」を行うほか、通常は決められた曜日に行っている15種類のガイドツアーなどもすべて実施。

また、来年度からのボランティアの募集も12月10日から開始します。ボランティアデーでは、ボランティア活動に興味をもった方を対象に「募集説明会」も実施します。

いつもとは違う角度から、トーハクを楽しんでみませんか？

ボランティアデーとボランティア募集の詳細は、当館ウェブサイト、博物館ニュース12・1月号でご案内します。

*お問合せ TEL:03-3822-1111(代) ボランティア室



*「東洋館シアター」とは、東洋館TNM&TOPPANミュージアムシアターのことです。

*事前申込プログラムにお申し込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問い合わせください。TEL:03-3822-1111(代)

*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

トーハクくんの なるほーく トーハク

独占取材! 特別展ができるまで!(事前調査編)

川村隊長がゆく! 兵馬俑展事前調査の旅

いよいよ始まる特別展「始皇帝と大兵馬俑」(本誌2~3ページ参照)! 今回は特別展の裏側で行われている仕事の一部として、本年1月下旬に中国・陝西省で行われた事前調査を中心にご紹介します。

特別展開催にあたっては、館内で部署をまたいだW・G(ワーキンググループ)が組織されます。兵馬俑展のW・Gチーフを務めるのが、今回の事前調査隊の川村隊長です。隊長の川村佳男主任研究員。専門は東洋考古



ではここからは、副隊長の日記から調査隊の様子をみていきましょう。

○月×日 1日目

朝9時にホテルを出発です。商洛博物館から調査をスタート。出品予定の作品について撮影、点検、採寸を実施します。

採寸はこのような器具で行います。お借りする大切な文化財をいためることのないよう、適切な展示方法の検討のために重要な調査です



○月◇日 2日目

秦始皇帝陵博物院へ。いよいよ兵馬俑と対面。隊長も気分十分。ご覧のとおり、スーツにネクタイを着用。…調査なのに…なぜスーツ?

それは、途中から出品作品リストの最終交渉に向かうため。「素晴らしい作品をお借りできるよう、しっかりと交渉していきます!」



○月■日 3日目

昨日の交渉で驚くべき成果がありました。「貴重な兵馬俑を追加で出品いただけそうです」。一同、大拍手。ただ、外は雪景色。この日の調査は極寒の状況下。さらに、雪の影響で高速道路が封鎖。翌日の予定は断念せざるをえなく…。隊長は突然の計画変更で段取りに大忙し。



ハードな日程の中、スタミナをつけるため、昼食時に生ニンニクをかじる隊長

○月△日 4日目

天候回復! 本日のミッションは、昨日東京の本部から指示があった「封泥の調査」。西安中国書法藝術博物館で展示を見学。

現地の様子を来館者目線で確認し、展示のイメージを膨らませます



○月◎日 5日目

再び秦始皇帝陵博物院へ。2日目には時間の都合上訪れることができなかった、博物院隣の始皇帝陵や、兵馬俑坑を見学。

兵馬俑がずらりと並ぶ姿はやはり圧巻! 展示会場でのスケール感をどう表現するか、隊長も知恵を絞ります



○月★日 6日目

西安から飛行機で北京へ。北京大学サッカー考古芸術博物館で、高原地帯の民「西戎」に関する最新の発掘成果展を視察。偶然にも展示会を企画した北京大学の教授と会場でお会いすることができました。

「西戎」と秦との関わりは、今回の特別展でも重要なポイントのひとつ



どうだったかな? トーハクくん!

わ、タイショー!

特別展開催までには長い準備期間が必要。今回も約2年間をかけて様々な準備を行っているんだよ。

ほー! なんだかもっと楽しみにってきたほ! 待ちきれないんだよ!

綿密な事前調査のもとでつくられる特別展。「始皇帝と大兵馬俑」をどうぞお楽しみに!

宮沢賢治生誕120年 プレコンサート 賢治と上野の物語

2016年の宮沢賢治生誕120周年記念のイベントとして、賢治も愛した東京国立博物館にて、賢治の聴いた弦楽四重奏曲を古典四重奏団が再現した演奏会を開催します。

日時:10月17日(土) 14:00~16:00(開場13:30) 会場:平成館ラウンジ

料金:無料(ただし、当日の入館料が必要)*事前予約不要

お問合せ:東京国立博物館総務課イベント担当 TEL:03-3821-9270

*月曜日~金曜日の9:30~17:00(土日・祝休日は除く)

*詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。

東京国立博物館 秋のコンサート~秋の午後 チェロとピアノの調べを~

日時:10月18日(日) 開演14:00 開場13:30 会場:平成館ラウンジ

出演:海野幹雄(チェロ)、海野春絵(ピアノ)、須関裕子(ピアノ)

曲目:ショパン:練習曲より 作品10-3「別れの曲」、ショパン:ポロネーズ第6番 作品53「英雄」、メンデルスゾーン:チェロソナタ第2番より第1楽章、ピアソラ:ル・グランタンゴ ほか

料金:5,000円 友の会・賛助会割引4,500円(全席自由)

*当日は、コンサートチケットで、総合文化展をご観覧いただけます。

主催:東京国立博物館、サロン・ド・ソネット

*チケットのお求め方法、並びにイベントの詳細は、当館ウェブサイトでご確認ください。

Music Program TOKYO まちなかコンサート~芸術の秋、音楽さんぽ~

都内の文化施設と連携した新進演奏家によるコンサート「Music Program TOKYO まちなかコンサート」にトークも参加します!

日時:10月31日(土) 11:00~、12:30~ (各回20分公演)

場所:本館エントランス ※荒天時中止

出演者:井上康一(トロンボーン)、多田将太郎(トランペット)、津守祥三(トランペット)、斎藤充(ユーフォニアム)、田中優幸(チューバ)

参加費:無料(ただし、当日の入館料が必要)

主催:東京都、東京文化会館・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団) お問合せ:東京文化会館事業企画課 TEL:03-3828-2111

休館・閉室情報

下記の展示館を一時閉室・休館しています。

法隆寺宝物館:~2016年3月14日(月)[環境整備工事のため]

平成館考古展示室:~10月13日(火)[リニューアルのため]

10月10日(土)は留学生の日です

日本の学校に所属する留学生、ALT(外国語指導助手)および、その同行者は総合文化展が無料となります。*入館の際に学生証をご提示ください<イベントスケジュール>

●「日本美術の流れ」英語ガイド

時間:10:00~11:00、15:00~16:00

本館2階の各所で、ボランティアが英語で作品紹介を行います。

●各種ガイドツアー やさしい日本語で行います。

*詳細はウェブサイトをご覧ください

●留学生のためのお茶会(応答館)

時間:①11:00~12:00、②13:00~14:00

定員:各回18名(開始30分前に本館エントランスにて整理券配布)

参加費:300円

第12回 台東区の伝統工芸職人展

東京国立博物館のある台東区は、江戸文化が栄えた町として知られています。今年も様々な分野の職人による製作実演を行います。下町の歴史と風土の中で生まれ受け継がれてきた、職人の本物の技と手づくりのぬくもりをご覧ください。

日時:2015年11月10日(火)~15日(日) 9:30~17:00

会場:平成館ラウンジ

料金:総合文化展観覧料でご覧いただけます

主催:台東区 共催:東京国立博物館

協力:台東区伝統工芸振興会・台東伝統文化振興会

お問合せ:台東区役所文化産業観光部産業振興課 TEL:03-5246-1131

東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同をいただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。

◎年会費

〈団体〉プレミアム会員 1,000万円以上

特別会員 100万円(1口)

維持会員 20万円

〈個人〉プレミアム会員 100万円以上

特別会員 20万円/維持会員 5万円

◎主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

◎申込方法

当館窓口のほか、当館ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込で随時受け付けています。

◎お問合せ

東京国立博物館総務部 賛助会担当
電話 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2015年9月11日現在

特別会員 団体

日本電設工業株式会社様
株式会社 コア様
大日本印刷株式会社様
毎日新聞社様
株式会社 大林組様
朝日新聞社様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ様
株式会社 ミロク情報サービス様
読売新聞社様
三菱商事株式会社様
凸版印刷株式会社様
ブルガリ ジャパン株式会社様
公益財団法人 東芝国際交流財団様
日本印刷株式会社様
日本ロレックス株式会社様
サロン・ド・ソネット様
株式会社 ミュージアムスタイルカフェ様
株式会社 東芝様
株式会社 みずほ銀行様
一般財団法人 東京国立博物館協会の様

維持会員 団体

株式会社 三冷社様
株式会社 東京美術様
日本通運株式会社様
株式会社 安井建築設計事務所様
株式会社 ナガホリ様
松本建設株式会社様
株式会社 古美術数本様
謹慎書道会様
近代畜産研究所様
日本畜産興業株式会社様
株式会社 東京書芸館様
インフォコム株式会社様
学校法人 大勝院学園様
有限会社 システム設計様
TBS様
株式会社 インターネットイニアティブ様
株式会社 小西美術工芸社様
有限会社 キャラリ-竹柳堂様
株式会社 育伸社様
株式会社 モリサワ様

アミ開発有限会社様
光村図書出版株式会社様
キョーリン製菓ホールディングス株式会社様
株式会社 資生堂様
株式会社 グラスパウーハン・ジャパン様
株式会社 デュナミス様
キョーマン株式会社様
公益財団法人 創玄書道会様
朝陽書道会様
一般社団法人 書芸文化院様
株式会社 精養軒様
株式会社 都市環境企画様
全日本空輸株式会社様
株式会社 清光社様
有限会社 アトリエ・エビス様
一般社団法人 学士会様
公益財団法人 書道芸術院様
アズビル株式会社様

個人

プレミアム会員	中川 俊光様 若岡 良孝様	北山 喜立様 山田 泰子様 高橋 守様	木谷 駿巳郎様 高梨 兵左衛門様 渡久地 ツル子様	秋元 文子様 土師 詔三様 上塚 建次様	古川 晴紀様 菊地 昌之様 岩本 光雄様	師田 久子様 井茂 圭河様 高味 良信様	山田 伊知郎様 中野 俊介様 手塚 真由美様	伊藤 扶美様 福武 正廣様 江幡 真史様	田中 久丸様 神田 靖男様 森本 晃生様	黒河 英俊様 鈴木 健之様 岩本 みち子様	杉浦 礼子様 薄井 美香様 山向 裕子様	
特別会員	小澤 桂一様 上久保のり子様 柳田 良豊様 田中 将介様 堀内 洋志様 林 秀彦様 谷川 紀彦様	岡田 博子様 白井 生三様 長谷川 英樹様 池田 孝一様 木村 剛様 観世 あすか様 星 登由尚様	津久井 秀郎様 川瀬 祐勝様 神通 豊様 清川 勉様 仙石 哲朗様 五十嵐 良和様	野口 圭也様 渡邊 雪絵様 佐藤 禎一様 田中 千秋様 山口 隆司様 原 一之様 会田 健一様	鈴木 春朝様 山上 知子様 名取 幸二様 増淵 信義様 要 英範様 本條 陽子様 片倉 正文様	杉山 恭規様 笹森 美子様 高橋 明子様 村井 明美様 小塚 泰博様 清水 透石様 野本 陽代様 星 弘道様	井出 宗則様 土屋 和彦様 唯田 栄一様 高橋 明子様 林 和人様 清水 透石様 野本 陽代様 福田 倫子様	竹内 和世様 岡野 一昭様 伊藤 彰信様 小林 浩和様 加藤 正叙様 蔵口 真理様 田中文雄様 青木 瑞枝様	清原 真里様 角田 保行様 平尾 佳淑様 三浦 基広様 金光 真佐一様 青木 麗史様 岩木 瑞枝様 川上 宗雪様	神田 靖男様 森本 晃生様 平尾 佳淑様 三浦 基広様 金光 真佐一様 青木 麗史様 岩木 瑞枝様 川上 宗雪様	永野 剛志様 堀川 佳津美様 滝本 篤様 秦 貴清様 秋元 幸雄様 中山 安弘様 野田 和佳子様 水田 涉子様	橋田 光昭様 長井 真理様 酒井 良哲様 山神 英司様 根岸 順様 田中 真知子様 高田 明典様 高野 成子様
維持会員	福垣 哲行様 高木 剛樹様 伊藤 信彦様 飯内 匡人様 服部 悦子様 高田 重美様 高田 朝子様 齋藤 京子様 齋藤 邦裕様 和田 喜美子様 佐々木 芳絵様 藤原 紀男様	西岡 宏宏様 友原 紀子様 吉原 知良様 古屋 光夫様 根田 穂美子様 松本 澄子様 是常 博様 上野 孝一様	藤崎 英喜様 藤田 実香様 西岡 宏宏様 友原 紀子様 野澤 智子様 池谷 正夫様 脇 素一郎様 秦 芳彦様	今里 美幸様 櫻井 恵様 伊佐 健二様 福井 一夫様 軽部 由香様 木越 純様 井上 保様 田中 信様 岡 靖子様	原田 清朗様 筑紫 みずえ様 鳥山 玲様 尾崎 昌勝様 倉井 康雄様 栗山 哲夫様 大川 権翁様 梅本 聖様 榎本 享世様 田頭 一舟様 岡田 良雄様 阿部 和加子様	山田 伊知郎様 中野 俊介様 手塚 真由美様 井出 宗則様 土屋 和彦様 唯田 栄一様 高橋 明子様 村井 明美様 小塚 泰博様 清水 透石様 野本 陽代様 福田 倫子様 佐藤 美香様 青山 慶彦様 高木 聖雨様 田中 宏己様 山中 翠谷様 尾崎 昌勝様 吉永 喜代子様 柳川 大志様 長嶋 益子様 関口 衛様 榎 見秀様 樺澤 剛志様 小日向 志乃様 松前 深泉様 佐藤 貴土様 横田 隆義様	伊藤 扶美様 福武 正廣様 江幡 真史様 竹内 和世様 岡野 一昭様 伊藤 彰信様 小林 浩和様 加藤 正叙様 蔵口 真理様 田中文雄様 青木 瑞枝様 川上 宗雪様 一川 毅彦様 田代 雅彦様 谷内 英一様 佐藤 美香様 青山 慶彦様 高木 聖雨様 田中 宏己様 山中 翠谷様 尾崎 昌勝様 吉永 喜代子様 柳川 大志様 長嶋 益子様 関口 衛様 榎 見秀様 樺澤 剛志様 小日向 志乃様 松前 深泉様 佐藤 貴土様 横田 隆義様	田中 久丸様 神田 靖男様 森本 晃生様 清原 真里様 角田 保行様 平尾 佳淑様 三浦 基広様 金光 真佐一様 青木 麗史様 岩木 瑞枝様 川上 宗雪様 一川 毅彦様 田代 雅彦様 谷内 明世様 平田 恭之様 高橋 薫様 清田 志郎様 羽石 史生様 宮川 寛子様 笠原 勉様 佐野 淑子様 中村 光宏様 小野 透様 菅野 良子様 中田 公人様 中島 米治郎様	黒河 英俊様 鈴木 健之様 岩本 みち子様 廣瀬 敬重様 永野 剛志様 堀川 佳津美様 滝本 篤様 秦 貴清様 秋元 幸雄様 中山 安弘様 野田 和佳子様 水田 涉子様 吉原 剛一様 春日 信彦様 本吉 文夫様 重田 綾子様 松原 聡様 五嶋 滋之様 藤原 秀文様 島谷 桂子様 笹川 統様 小河 恭子様 田中 三伊様	杉浦 礼子様 薄井 美香様 山向 裕子様 上島 啓隆様 橋田 光昭様 長井 真理様 酒井 良哲様 山神 英司様 根岸 順様 田中 真知子様 高田 明典様 高野 成子様 森本 文子様 田頭 敦子様 北川 由紀夫様 沖 斗南様 牧 裕子様 青木 勝重様 南 佳菜子様 大塚 匠子様 伊藤 隆様 ほかに102名2社、順不同		

一般のご寄附・募金へのお礼

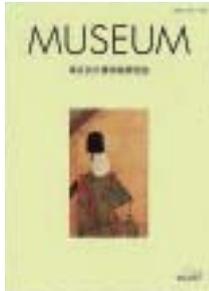
平成26年度にお寄せいただいた寄附金は28,782,570円、また募金総額は1,875,141円となりました。皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。お寄せいただいた寄附金及び募金につきましては、作品の購入や文化財の修理・保存に使用させていただいております。文化財の修理は今後も長期に亘り継続する予定です。今後とも、当館の事業にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

資料館より—資料の収集・管理について

資料館で収集している図書類は、図書、展覧会カタログ、埋蔵文化財の発掘調査報告書、雑誌類などに大別されます。現状では収集の大半は寄贈・交換および当館の画像利用に伴う納本に頼っています。当館の収蔵品に係る分野を中心に資料を選定して受け入れており、ここ数年の年間の平均受入数は、図書約6,000冊、雑誌約4,000冊となっています。バランスのとれた収集と収納スペースの確保が大きな課題となっています。

『MUSEUM』657号(2015年8月15日発行)の掲載論文

- ①「東京国立博物館所蔵土佐光起筆十二ヶ月花鳥図巻の制作背景について—後水尾院との関係を中心に—」遠藤楽子(当館出版企画室研究員)
 - ②「『作品紹介』木造二天王立像(国・文化庁保管)」奥健夫(文化庁)
 - ③「『報告』木造二天王立像(国・文化庁保管)」の年輪年代調査」星野安治(奈良文化財研究所)・児島大輔(大阪市立美術館)・光谷拓実(奈良文化財研究所)
 - ④「『研究ノート』狩野探幽筆草花写生図巻—所収写生図の年代順の動向と被写体の提供者について—」小野真由美(当館貸与特別観覧室主任研究員)
- お問合せ: 当館ミュージアムショップまたは中央公論事業出版(電話03-5244-5723)
定価:1,543円(税込)



「創エネ・あかりパーク® 2015」開催に伴う特別夜間開館

光の祭典「創エネ・あかりパーク® 2015」が、今年も上野公園を会場に開催されます。当館でも夜間開館し、本館へのスペシャルライトアップを実施します。
日時:10月30日(金)~11月2日(月) 20:00まで開館(入館は19:30まで)
主催:「創エネ・あかりパーク2015」実行委員会

TNM & TOPPANミュージアムシアター

- 「東博のミイラ デジタル解剖室へようこそ」~10月12日(月・祝)
 - 「伊能忠敬の日本図」10月14日(水)~12月23日(水・祝)
- *関連展示:本誌11ページ

料金:一般・大学生・高校生:500円、小学生・中学生:300円、未就学児、障がい者及び同伴者1名:無料(1作品/1回あたり)

- *総合文化展とセット購入で一般:1,000円/大学生800円
- *所要時間は約40分です。鑑賞には当日の予約が必要です。
- *演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。
- *詳細はウェブサイトをご覧ください。URL <http://www.toppa-vr.jp/mt/>



特別展「始皇帝と大兵馬俑」チケットプレゼント

本誌2~3ページでご紹介した特別展「始皇帝と大兵馬俑」(10月27日(火)~2016年2月21日(日))の無料観覧券を抽選で10組20名様にプレゼントします。締切は11月23日(月・祝)必着。
*プレゼントの応募方法はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢ならびにこの号で一番おもしろかったページをご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。
〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館 広報室「ニュース10・11月号」プレゼント係



東京国立博物館利用案内

開館時間:

- 9:30~17:00(入館は開館の30分前まで)
- 12月までの特別展開催期間中の金曜日は20:00まで(ただし、9月25日(金)、10月9日(金)、16日(金)・23日(金)は除く)
 - 4月~9月までの土・日曜、祝・休日は18:00まで
 - 10月2日(金)・3日(土)は22:00まで
 - 10月31日(土)~11月2日(月)は20:00まで

休館日:

- 月曜日(祝日・休日に当たる場合は開館、平日休館)
- 11月2日(月)、2016年3月28日(月)は開館
 - 2015年の年末は12月23日(水・祝)まで開館、2016年は1月2日(土)から開館
- *特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

総合文化展観覧料金

- 一般=620(520)円 大学生=410(310)円
- ()内は20名以上の団体料金
 - 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、Twitter、メールマガジンで!
東京国立博物館ウェブサイト
<http://www.tnm.jp/>

*各種イベントのお申込に際してご提供いただいた個人情報、当該目的のみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

東京国立博物館ニュースの定期購読

年間(6冊分)を1,000円の送料・事務費でご自宅にお届けします。パスポート・ベーシックと同時申し込みで100円割引(会員期間と同一期間の購読に限る)。
*次号よりご送付希望の場合、締切は11月10日(火)です。

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会

発行日から1年間有効
年会費 10,300円
*継続入会(パスポート・ベーシックを含む)の場合は9,800円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。特別展観覧券(12枚)の配布、そのほか本誌の定期郵送など様々な特典があります。

パスポート

発行日から1年間有効
一般 4,100円
29歳以下 3,000円
学生 2,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも、特別展は1回ずつ計6回まで観覧可能です。

ベーシック

発行日から1年間有効
一般 1,500円
29歳以下 1,100円
学生 900円

【特典】東京国立博物館の総合文化展を何度でも観覧できます。

お問合せ

電話03-3822-1111(代)友の会・パスポート担当
FAX03-3821-9680

▶各種お申込みは当館窓口・ウェブサイトまたは郵便振替で

[ウェブサイト]

申込フォームよりお申し込みください。クレジットカードによる電子決済をご利用いただけます。

[郵便振替でのお申込]

- 振替用紙に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください。
- 振替用紙の半券が領収書になります。有効期間終了まで保管しておいてください。
- 振替手数料はお客様負担となります。
- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号00160-6-406616

- 振替用紙には申込区分(新規・継続)を記入し、[継続]の方は、有効期限内の会員証等のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

東京国立博物館ニュースの定期購読&パスポート・ベーシック

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート&ニュース
口座番号00140-1-668060

- パスポート・ベーシックの申し込みの場合、振替用紙に申込区分([パスポート・ベーシック][一般・29歳以下・学生])を記入し、[29歳以下]・[学生]の方は、年齢のわかる身分証明証のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

*一度納められた料金の払戻はいたしません。

1木	東 11:00 YOGA 仏像と過ごす [アート オブ フルガリ 130年にわたるイタリアの美の至宝] 夕べ 19:30 東洋館1階*1 伝統衣装 11:00~16:00 [博物館でアジアの旅]
2金	特別夜間開館(22:00まで) セブンワンダーツアー「東洋の白磁-白いつつわをもとめて」11:00 博物館で野外シネマ 19:00 伝統衣装 11:00~16:00
3土	特別夜間開館(22:00まで) セブンワンダーツアー「文字でたどる朝鮮の歴史」11:00 13:30 14:00 アジアンぬりえ 11:00~16:00 伝統衣装 11:00~16:00 博物館で野外シネマ 19:00
4日	12:00 14:30 15:00 サムルリ(太鼓演奏) 韓国の伝統芸能 14:00、15:30 東洋館前 アジアンぬりえ 11:00~16:00 伝統衣装 11:00~16:00
5月	休館日
6火	セブンワンダーツアー「トーハクでシルクロード探検」14:00 11:00 キルギスの伝統楽器 13:00、15:30 東洋館1室 伝統衣装 11:00~16:00
7水	セブンワンダーツアー「茶人の執着ここにあり! 名物裂の世界」11:00 伝統衣装 11:00~16:00
8木	トーハクくん誕生日 14:00 本 14:00 YOGA 仏像と過ごす夕べ 19:30 東洋館1階*1 伝統衣装 11:00~16:00
9金	ユリノキちゃん誕生日 セブンワンダーツアー「筆墨の伝える世界-東アジアのパスポート」11:00 中国の伝統楽器 13:00、15:30 東洋館8室 14:00 15:00 伝統衣装 11:00~16:00
10土	講 日本美術がおもしろくなる様々な見方 13:30 平成館大講堂 陶 14:30 アジアンぬりえ 11:00~16:00 伝統衣装 11:00~16:00 留学生の日
11日	近 13:00 浮 14:00 カヤグム(伽耶琴演奏と併唱) 14:00、15:30 平成館大講堂 アジアンぬりえ 11:00~16:00 伝統衣装 11:00~16:00
12月・祝	セブンワンダーツアー「古代アジア青銅器の旅 なぜ人々は青銅に熱中したのか」11:00 伝統衣装 11:00~16:00
13火	休館日
14水	樹 13:30 平成館考古展示室リニューアルオープン
15木	彫 11:00、15:00
16金	
17土	W「トーハク劇場へようこそ!」ファミリーツアー 10:00、子どもツアー 13:30 11:00 樹 13:30 本 14:00 宮沢賢治演奏会 14:00 平成館ラウンジ
18日	W「トーハク劇場へようこそ!」ファミリーツアー 10:00、子どもツアー 13:30 11:00 11:00 12:30、14:00 14:00 14:30 東京国立博物館 秋のコンサート 14:00 平成館ラウンジ*
19月	休館日
20火	G 連続ギャラリートーク①「国宝 武人埴輪と現代日本文化」 14:00 平成館考古展示室
21水	
22木	本 14:00
23金	
24土	W「トーハク劇場へようこそ!」ファミリーツアー 10:00、子どもツアー 13:30 13:30 陶 14:30
25日	W「トーハク劇場へようこそ!」ファミリーツアー 10:00、子どもツアー 13:30 彫 11:00 14:00
26月	休館日
27火	G 連続ギャラリートーク② [須恵器の展開] 14:00 平成館考古展示室 特別展「始皇帝と大兵馬俑」 秋の庭園開放 黒田記念館特別室公開
28水	
29木	
30金	夜間開館(20:00まで) 創エネ・あかりパーク®2015
31土	夜間開館(20:00まで) 【兵馬】講「始皇帝が夢見た「永遠」-兵馬俑と発掘品から読み解く-」13:30 平成館大講堂*1 まちなかコンサート 11:00、12:30 本館エントランス

1日	夜間開館(20:00まで) 作 13:30 考 14:30
2月	夜間開館(20:00まで)
3火・祝	建 11:00
4水	休館日
5木	東 11:00
6金	夜間開館(20:00まで) G「肖像彫刻」18:30 本館11室
7土	講「一遍とたどる日本の聖地と時宗の文化財」13:30 平成館大講堂 本 14:00
8日	近 13:00 浮 14:00
9月	休館日
10火	G「禅宗寺院の中世障壁画」14:00 本館地下教育普及スペース 11:00 台東区の伝統工芸職人展
11水	樹 13:30
12木	庭 14:00 本 14:00
13金	夜間開館(20:00まで) G 連続ギャラリートーク③「縄文土器の見方 大きさ・形・文様」18:30 平成館考古展示室 英 14:00
14土	陶 14:30
15日	英 11:00 東 11:00 茶 12:30、14:00 浮 14:00 考 14:30
16月	休館日
17火	G「東アジアへと伝わった英雄ヘラクレスのイメージ」14:00 東洋館シアター
18水	
19木	彫 11:00、15:00
20金	夜間開館(20:00まで) G 連続ギャラリートーク④「板碑への誘い 中世の石製塔婆」18:30 平成館考古展示室
21土	建 11:00(手話付) 樹 13:30 本 14:00 【兵馬】トークイベント 井上涼×兵馬俑 13:30 平成館大講堂
22日	彫 11:00 庭 14:00 考 14:30
23月・祝	
24火	休館日
25水	
26木	本 14:00
27金	夜間開館(20:00まで) G 連続ギャラリートーク⑤「埴輪の農夫」18:30 平成館考古展示室
28土	【兵馬】講「銅車馬-始皇帝の乗った車駕-」13:30 平成館大講堂 13:30 陶 14:30
29日	
30月	休館日 (12/6まで)(2/21まで) V V

樹=「博物館でアジアの旅」関連事業、詳細は本誌4ページ 【兵馬】=特別展「始皇帝と大兵馬俑」関連事業、詳細は本誌3ページ *1:事前申込制。申込は締め切りました *2:有料イベント。詳細は本誌14ページ

講=月例講演会等、詳細は本誌12ページ(特別展および「博物館でアジアの旅」関連事業については、当該ページ)
 G=ギャラリートーク、詳細は本誌12ページ W=ワークショップ、詳細は本誌13ページ
 託児サービス実施日(12:30~15:30) 事前予約制 有料
 作=ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ 事前申込制 詳細は本誌前号12ページ
 本=ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス
 浮=ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館1階エントランス
 陶=ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所:本館1階エントランス
 彫=ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館1階エントランス ※10/4の集合場所は東洋館1階エントランス
 樹=ボランティアによる樹木ツアー、集合場所:本館1階エントランス
 考=ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:10/4は本館1階エントランス、10/14以降から平成館考古展示室入口(10/4は本館1室をご案内します)
 茶=ボランティアによる応挙館での茶会、集合場所:本館1階エントランス(参加費500円、先着18名、開始30分前に集合場所で整理券配布)
 庭=ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所:本館1階エントランス(先着15名、開始30分前に集合場所で整理券配布)
 英=ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所:本館1階エントランス
 建=ボランティアによるたてもの散歩ツアー、集合場所:本館1階エントランス
 近=ボランティアによる近代の美術ガイド、集合場所:本館1階エントランス
 刀=ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合場所:本館1階エントランス
 策=ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所:東洋館1階エントランス(木曜日は「仏像の旅」、日曜日は「東洋館ハイライト」をご案内します) ※10/4は特別バージョンでご案内します。
 注=東洋館で法隆寺献納宝物関連ガイドをご案内します、集合場所:東洋館1階エントランス ※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。